

Sivas-Türkiye

1974.  
Serpil Uluğ 1-53  
(Tufem folk ensemble)

Music : Çarık-101 , KISMET '84

※ 踊りの細かいスタイルや動きに不明点がある。今回は簡単なメモ書きで書いてみる。これを叩き台に、思い出して踊りを復活させましょう。以下の記録は、1979年全日夏の北海道大学のテキストと、Boraの英文資料とDencの習ったものを取り混ぜています。あやしい部分は太字にあります。

⑥ Dance 1 » Çemberim« (Our Circle)

I. 両手で千七を顔前で持ち、一列に入場 Rから two step 最後は小指連打 (W)  
右手千七のライン 円内向き。 35.

II 連手心るわせつつ まじき”。

④  4-7で床を掃くように。

III.  $r$  (x6) + おじき

⑦ tap Lはリズムをとる.

$$\text{IV. } \begin{matrix} \circ & \circ \\ \dot{R}\dot{L},\dot{R} & ,\dot{L}\dot{R}\dot{L} & ,\dot{R}\dot{L}\dot{R} & ,\dot{L}\dot{R}\dot{L} \end{matrix} \quad \begin{matrix} \parallel \\ Y \\ st \end{matrix}$$

(W) 自転車 + き  
のような twoStep  
連打はリズムに合わせ振る。

$\overrightarrow{V, RLR, LRL, RLR}$      $\begin{matrix} \uparrow & \downarrow \\ l & l \\ \text{kick} & 17k \end{matrix}$      $\overleftarrow{\text{Rev}}_{9999}$      $\overleftrightarrow{\text{Rep}}_{9999}$      $\overleftarrow{\text{Rev}}_{9999}$

Ⅶ. Ⅱ (tap & おいぎ)

VII, IV

VIII. V. たたし

kick リフト

X  
大きく回し膝前

◎ Dance 2 » Madimak « ほろん草に似た野菜をとり入れる様子  
 ーは ニシ (Fopn) にしろう 手はつたが ず 踊る (Madimak?)

チーフは 21 (エフロン) にしる。手はつなからず踊る。

$$I, \begin{array}{c} \circ \times \\ R \end{array} \begin{array}{c} \searrow \\ \downarrow \\ \swarrow \end{array} \begin{array}{c} \leftarrow \\ R \\ \rightarrow \end{array} \begin{array}{c} \swarrow \\ \downarrow \\ \searrow \end{array} \dots$$

左手 つかむ → 下向け → 左に残す  
右手 刈る → 左手下を → 肘より  
通す 引きつ

〜左手でつかんだ野菜をカットし、  
左手で「バッグ」に入れる。

"Kush Kush"  
ま2"

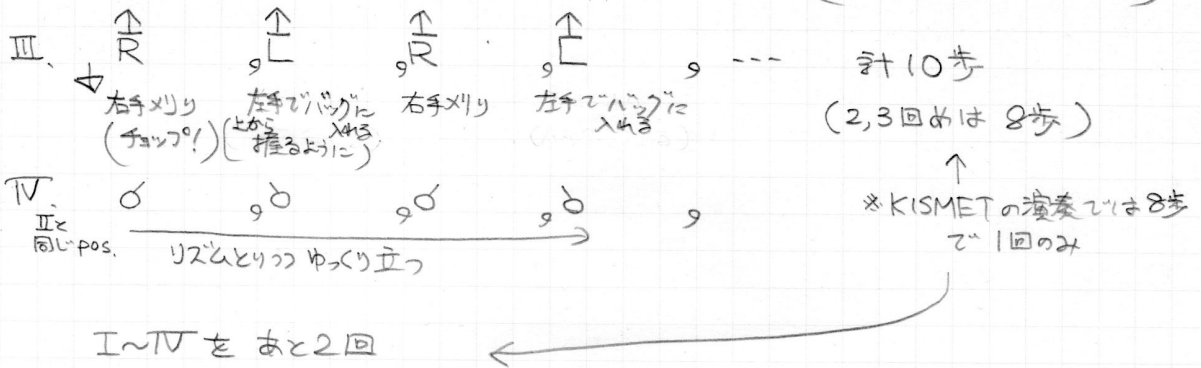
II.  $\circ$   $\circ$   $\circ$   $\circ$   $\circ$

両手した後  
手のひら外

リズムとやっ ゆっくりしかがすい

最後は膝を開くと書いてあるが、そうは習っていない。

(Sivaskiz その2)



◎ Dance 3 » Keçi Vurdum Bayıra « 羊を丘の上に連れていく  
» Hoplatma « 跳びひきはねさせる.

I.

II.

III.

※ 北大の資料は、Boraの英文資料を参考にして、習ったものとの相違を反映させたものと思われるが、実際の踊り方は、双方混ざり合ったような形のもの。スタイル面の表現の違いをのぞくと、Dance 1, 2 はあまり異論がないが、Dance 3 は、混乱している。また、総じて手の動きは、あいまいに伝わっており 何か正解かつかみかねているのが、Dencの現状です。

情報求む!!

2008.6.11, 修正(3-Ⅲの手)  
9.7 修正(1の曲名) Dené  
2009.6.9 追記(KISMET 無責任編集  
2017.10.9 3-I回数 構成) 2008.5.29